

サンホセデアパルタドの平和共同体のための ファックスジャム・アクションご報告



コロンビアにあるサンホセデアパルタドの平和共同体を支援するために行われた第2回ファックスジャム・アクションが終了しました。これはアムネスティ創立50

周年の一環として、表現の自由を訴えるために行われた活動で、総勢5,469名が参加しました。

今回のアクションではファックスの送信業者に技術的な問題があり実際にファックスを詰まらせることはできませんでしたが、コロンビア大統領のファックス1台あたり500名分の署名を送信することで大統領に圧力をかけることができました。サンホセデアパルタドの平和共同体はアムネスティに以下のようなメッセージを寄せています。

親愛なるアムネスティの皆さん

私たちは皆さんのことを存じ上げませんし、住んでいる場所も遠く離れています。しかし今回の出来事は、連帯感や人間尊重の精神が、物理的距離や習慣を超えられることを示してくれました。皆さんは、私たちの日々の生活や住む場所、そして私たち自身が尊重されるべきものであることを、コロンビア政府や世界に向けて発信してくれました。

私たちを支え、希望を与え、抵抗し続ける力をくれた皆さんの活動に心の底からお礼を申し上げます。いつの日か皆さんともっとお近づきになれることを願っています。

平和共同体

このアクションに参加して下さった方に感謝を申し上げます。第3回（最終回）のファックスジャム・アクションはインドネシアのヨハン・テリサさん救出のために3月30日～4月6日に行われます。ヨハンさんは元小学校教師で、平和的な抗議行動を指導したために捉えられ拷問を受けて

います。このファックスジャム・アクションに参加をご希望の方は、2011@amnesty.orgまでメールでご連絡ください。

ザーガナーさんが「シークレット・ポリスマンズ・ボール」に出演

ビルマ（ミャンマー）のザーガナーさんが、4月3日の「シークレット・ポリスマンズ・ボール」（アムネスティに賛同するコメディアンとミュージシャンたちによるチャリティイベント）に出演することが決まりました。今回のイベントは、表現の自由のために、またアムネスティの創立50周年を記念してニューヨークのラジオミュージックホールで開催されます。当日は世界中から才能あふれるコメディアンやミュージシャンが多数、集まる予定です。

世界的に有名なコメディアンであり映画監督でもあるザーガナーさんは、その活動を通じてビルマにおける人権侵害の実情を訴えてきました。

チュニジアの難民キャンプを舞台にした 短編ドキュメンタリー映画が完成

リビアとの国境近くにあるチュニジアの難民キャンプ、ショウシャが舞台となった短編ドキュメンタリー映画「保留にされた人生」（原題：A Life on Hold）が完成しました。

監督のニック・フランシスさんとマーク・シルバさんはアムネスティとともに難民キャンプを訪問する機会がありました。その際、戦争によって人生を滅茶苦茶にされてしまったソマリア人の若者オマール君に出会いました。オマール君の生活には、多くの難民に共通する数多くの問題が見られ、一方で安全な国への移住を辛抱強く待たなければならないという厳しい現状もあります。

アムネスティでは、このドキュメンタリー映画を出品できる映画祭を探しています。お心当たりのある方はindividuals@amnesty.orgまでご連絡ください。作品は、以下のインターネットサイトで閲覧できます。

<http://www.guardian.co.uk/global-development/video/2012/feb/24/somalia-story-teenage-refugee-video>

2011年の緊急行動 (UA) まとめ

アムネスティは2011年に368件の緊急行動(UA)を発動しました。加えて361件の事件の内容が更新され、合計729件となっています。更新された事件のうち116件は事件の解決や当事者の死去などで停止となりました。

〔UAが発動された地域〕

UAの大多数は中東と北アフリカに集中しています(新規127件・更新154件)。アメリカ大陸でも新規件数は116件と多く更新件数も73となっています。アジアでは新規54件、更新55件。ヨーロッパでは新規41件、更新50件。アフリカ地域ではUA30件、更新29件となっています。

〔UAの対象となった人の性別〕

729件のうち445名が男性(個人)に関する事件でした。女性に関する事件は59件となっており、203件については男女両方に関するものでした。22件については当事者の性別が不明の事件です。

〔関係する個人の人数〕

UAの事件に巻き込まれている個人の人数を特定できているのは584件です。584件(全UAの約5分の4)で、5,661名の人びとが巻き込まれています。

〔日本語で発信したUA数〕

日本語に翻訳し発信したUAの国別件数は、中国29件、メキシコ15件、シリア15件、イラン14件、米国10件、その他160件となっています。

アムネスティでは、引き続き2011年UAに関する分析を行っています。今後、それらをまとめ、UAの活動がそれぞれの事件にどんなインパクトを与えることができたかをお知らせする予定です。

拘束されていたジンバブエの活動家が保釈

2011年12月に逮捕されたジンバブエメディア監視プロジェクト(MMPZ)の活動家が保釈されました。保釈され

たのはMMPZの職員のファドザイ・ディッセンバーさんとモリー・チンハンダさん、そして南マタベレランド州の情報権利フォーラム委員長であるギルバート・マブサさんです。

ジンバブエの治安判事は3人にかけていた2つの容疑を取り消しましたが、3番目の容疑である「大統領を中傷し権威を傷つけた罪」については審理が続いています。アムネスティは、彼らが逮捕されたのはジンバブエのメディア改革と表現の自由を訴えた合法的な活動を行ったためだと考えています。

バーレーンで拘束中のカナダ人が保釈

クエート出身のカナダ人、ナセル・バデル・アル・ラーズさんは、2011年3月の抗議行動で懲役5年の判決を受け、拘留されていましたが、2月6日に保釈されました。しかし容疑は晴れておらず2月16日には尋問も行われました。アムネスティは彼に対する容疑の撤回を求めています。

袴田死刑囚を世界が支援

2月20日、毎日新聞(静岡版)に、アムネスティによる、袴田さん支援のキャンペーンを取り上げた記事が掲載されました。記事はスペイン支部とオーストラリア支部の袴田さんのポスターづくりとそれを使った活動を紹介しています。スペイン支部が制作したポスターの写真を大きく掲載。袴田さんの実姉・ひで子さんは、「海外へも支援の輪が広まり非常にありがたい」と、この記事で語っています。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本